

病院と地域のつながりを深めよう

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■ テーマ

『多様な苦痛への切れ目のない 緩和ケアを実現するために』

司会・進行 広島大学病院 緩和ケアセンター 倉田明子 医師

ミニレクチャー : 「エンドオブライフケアにおける緩和ケア薬剤の工夫」

講師 : 医療法人 秋本クリニック 笠原 庸子 薬剤師

事例検討 : 「困難事例の背景にある課題を考える」

事例提示 : 広島大学病院 看護部 榎埜 良江 がん看護専門看護師

司会 : YMCA訪問看護ステーション・ピース
所長 濱本 千春 訪問看護師

がん患者をはじめとする終末期の看取りに向けた療養について、拠点病院の入院と在宅診療、緩和ケア病棟と在宅診療を行き来しながら療養を進めていく患者さんも増えており、互いの医療・ケアの内容を知って連携する必要があります。本研修では、終末期の症状緩和やケアについて、エキスパートの先生方の講演とともにグループワークを行い、知識の向上と、連携スキルの獲得を目的としています。皆様奮ってご参加ください。

■開催日時 2025年1月25日（土）15：00～16：30(建物解錠14：30)

■開催場所 広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

■対象者 がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師など医療従事者

■申込方法



QRコードを読み取り、
申込フォームに入力後送信してください

■申込締切日 2025年1月10日（金）17：00 ※本研修会は必ず申込みが必要です

お問い合わせ：広島大学病院医療支援グループ ☎082-257-5934

■定員 35名（定員になり次第締め切らせていただきます）

《主催》広島大学病院（都道府県がん診療連携拠点病院）

《共催》中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム／広島大学次世代のがんプロフェSSIONAL養成プラン